

令和 7年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	道路整備課
	施策	道路・橋りょうの整備		電話番号	087-839-2516
	取組方針	老朽化対策の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	橋りょう改築修繕事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市では、1,490橋を管理している。その多くは、高度経済成長期以降に建設したもので、現在、建設後50年を経過する橋は多く存在しないが、今後、急速に老朽化橋りょうが増大することが想定され、一斉に更新時期を迎えた場合、大きな財政負担が生じることになる。 このようなことから、橋利用者の安全性を確保しつつ、コスト縮減を図るため、これまでの対症療法的な対応から、予防保全的かつ計画的な対応により、橋を長寿命化させる方針に転換し、長寿命化修繕計画に基づき、計画的に橋の修繕等を行うこととしている。				
年度概要	長寿命化修繕計画に基づく修繕等 （設計） 橋りょう10橋、トンネル2箇所 （工事） 橋りょう10橋 橋りょう点検 長寿命化修繕設計				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	道路法、高松市橋りょう長寿命化修繕計画

【事業の目的】

対象（何を）	事業対象施設：本市が管理する橋 事業対象者：橋通行者
意図（どのような状態にしたいか）	高松市橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、計画的に修繕を行うことにより、橋通行者の安全性を確保するとともに長寿命化による維持管理コストの縮減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
単年度修繕橋数	橋	0	0	4	6	6

【事業の成果】

成果指標

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
橋修繕数(累計)	橋	目標値	0	0	79	85	91
		実績値	0	0	61		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
関係機関との協議・調整により農繁期、出水期を避けて実施する必要があり、事業スケジュールが予定よりも遅れたため、目標値を達成することができなかった。		(目標達成度)	77.2%				
		(得点)	27点				

成果指標

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
		(目標達成度)					
		(得点)					

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	309,737	209,180	246,943	365,220
(事業費)	[千円]	271,569	170,792	195,991	314,268
(職員人件費)	[千円]	38,168	38,388	50,952	50,952

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	長寿命化修繕計画に基づく修繕等 (設計) 7 橋 (工事) 5 橋 橋りょう点検 長寿命化修繕設計 長寿命化修繕工事	1 5 0 , 7 1 1 千円 4 5 , 2 8 2 千円 0 千円 0 千円	総額	195,991	
			特定財源	国	102,219
				県	0
				市債	59,900
				他	0
			一般財源	33,872	
令和 7 年度	長寿命化修繕計画に基づく修繕等 (設計) 橋りょう10 橋、トンネル2 箇所 (工事) 橋りょう10 橋 橋りょう点検 長寿命化修繕設計 長寿命化修繕工事	2 4 3 , 8 0 0 千円 7 0 , 4 6 8 千円 0 千円 0 千円	総額	314,268	
			特定財源	国	162,305
				県	0
				市債	103,200
				他	0
			一般財源	48,763	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	78 / 100 (78 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

工事施工に際し、関係機関との協議・調整により農繁期、出水期を避けて実施することとなり、修繕スケジュールが遅延したため、目標値を達成できなかった。

今後も引き続き、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、対象橋りょうについて計画的に修繕していく。

令和 7年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	道路整備課
	施策	道路・橋りょうの整備		電話番号	087-839-2516
	取組方針	道路整備の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	道路新設改良事業			

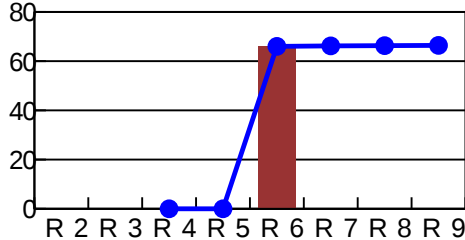
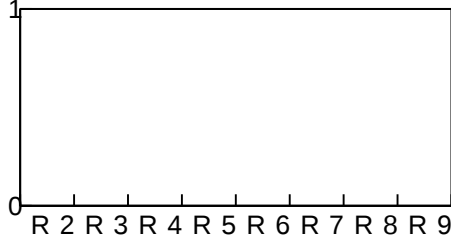
【事業全体概要】					
事業概要	市内に存する800kmを超える幅員4m未満の市道について、地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境を創出するため、地域バランスに配慮しながら、4m以上の拡幅整備等を行う。				
	市単独新設改良事業（県費補助事業を含む）				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令		

【事業の目的】	
対象（何を）	対象施設：市が管理する道路で主に幅員4.0m未満であり一定の要件を満たした整備要望のある路線 対象者：道路利用者
意図（どのような状態にしたいか）	道路利用者の利便性の向上が図れる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
工事施工路線数	路線	0	0	17	11	15

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	幅員 4 m 以上の市道整備率	%	目標値	0	0	66	66.2	66.3
			実績値	0	0	66		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	地権者や関係機関との協議等を円滑に実施することで 17 路線の道路整備を実施し、目標を達成することができた。							
			(目標達成度)					
			(得点)					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	708,022	569,668	433,725	408,046
(事業費)	[千円]	642,163	503,430	365,789	340,110
(職員人件費)	[千円]	65,859	66,238	67,936	67,936

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	市単独新設改良事業（県費補助事業を含む）	3 6 5 , 7 9 1 千円	総額	365,789	
			特定財源	国	0
				県	13,688
				市債	297,800
				他	0
			一般財源	54,301	
令和 7 年度	市単独新設改良事業（県費補助事業を含む）	3 4 0 , 1 1 0 千円	総額	340,110	
			特定財源	国	0
				県	24,538
				市債	250,700
				他	0
			一般財源	64,872	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

生活道路整備事業において、短期採択路線・旧要望路線について整備を進めたほか、地元協議を進め、中・長期採択路線を含む複数路線について、当該路線毎の整備方針が決まったことから、継続的に事業の更なる推進を図る必要がある。

市民ニーズに応えながら、地域バランスも考慮し投資効果の向上、コンパクトエコシティの推進等を目的として、この趣旨の下、改正を行った「高松市生活道路整備審議会運営要領」に基づき整備の必要度を評価し、生活道路整備審議会の答申を踏まえ、円滑な事業の推進を図っていく。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	道路整備課
	施策	地域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2516
	取組方針	道路ネットワークの充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	道路ネットワーク構築事業			

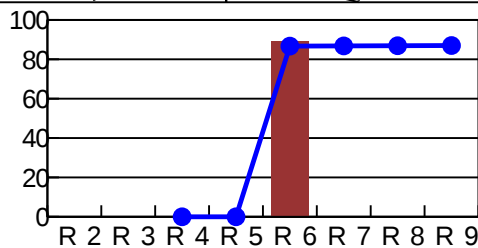
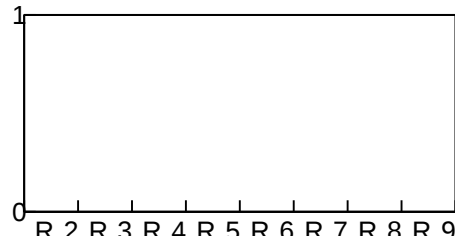
【事業全体概要】					
事業概要	都市交通における最も基幹的施設である都市計画道路の整備を推進し、利便性・安全性・快適性に優れた交通ネットワークの構築、円滑な道路交通の確保、及び豊かな公共空間を備えた良好な市街地の形成を図ることにより、安全で快適な都市生活と機能的な都市活動、集約型都市構造の構築に寄与するものである。				
年度概要	道路新設改良国庫補助事業 街路事業 県施行道路整備事業地元負担金事業 県施行街路事業地元負担金事業 地方道路整備臨時貸付金償還金				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	都市計画法 5 9 条第 1 項

【事業の目的】	
対象（何を）	対象施設：都市計画道路及び整備が計画されている県道 対象者：道路利用者（歩行者・自転車利用者、自動車利用者）及び道路周辺住民
意図（どのような状態にしたいか）	道路利用者の利便性を図るとともに、安全性・快適性に優れた道路ネットワークの整備を促進し、集約型都市構造の構築に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
単年度都市計画道路整備延長	m	0	0	327	220	220

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	都市計画道路整備率	%	目標値	0	0	86.7	86.8	86.9
			実績値	0	0	89		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	木太鬼無線の事業促進など、都市計画道路の整備を進め、目標を達成できた。		(目標達成度) 102.7% (得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
			(目標達成度) (得点)					

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	896,541	413,129	508,316	914,571
(事業費)	[千円]	812,720	328,827	410,272	816,527
(職員人件費)	[千円]	83,821	84,302	98,044	98,044

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	道路新設改良国庫補助事業 街路事業 県施行道路整備事業地元負担金事業 県施行街路事業地元負担金事業 地方道路整備臨時貸付金償還金	2 1 , 5 9 9 千円 2 7 8 , 6 1 7 千円 5 2 , 3 3 4 千円 5 0 , 4 8 5 千円 7 , 2 4 2 千円	総額	410,272	
			特定財源	国	106,110
				県	1,750
				市債	245,900
				他	0
			一般財源	56,512	
令和 7 年度	道路新設改良国庫補助事業 街路事業 県施行道路整備事業地元負担金事業 県施行街路事業地元負担金事業 地方道路整備臨時貸付金償還金	2 5 7 , 6 9 5 千円 4 1 1 , 5 9 0 千円 6 5 , 0 0 0 千円 7 5 , 0 0 0 千円 7 , 2 4 2 千円	総額	816,527	
			特定財源	国	278,022
				県	0
				市債	437,900
				他	0
			一般財源	100,605	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
朝日町仏生山線及びその他の路線については継続して整備を進めており、計画的に事業進捗を図る必要がある。 また、木太鬼無線（三条工区）等については用地買収を行っており、引き続き財源を確保し、計画的に事業を進めていく必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
今後は、木太鬼無線（三条工区）及びその他路線について計画的に整備を進め、繰越額を縮減する。 一方、国費等の財源を確保するため、国への要望を強化していく。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	道路整備課
	施策	地域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2516
	取組方針	自転車の利用環境の向上		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	自転車利用環境整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	平成20年11月に、自転車を利用した香川の新しい都市づくりを進める協議会 高松地区委員会 安全空間確保部会（国・県・県警・市で構成、以下「安全空間確保部会」）において策定した、高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針に基づき、国・県・県警等と連携し、自転車道などを整備することにより、自転車を本市の重要な都市交通手段として有効に活用し、歩行者と自転車の安全で快適な空間の確保や、人と環境にやさしい交通まちづくりを目指す。				
年度概要	自転車通行空間の整備 東浜港多賀線				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	自転車ネットワーク整備方針、高松市自転車

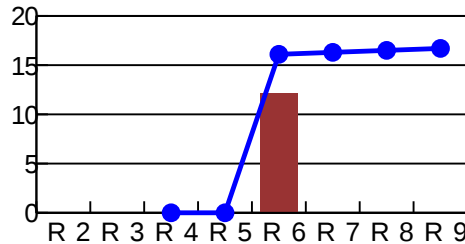
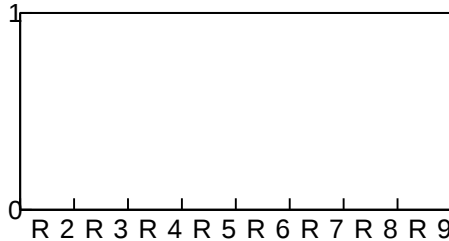
【事業の目的】

対象（何を）	対象施設：「自転車ネットワーク整備方針」に位置付けられている市道 対象者：自転車利用者
意図（どのような状態にしたいか）	自転車通行空間を整備することにより、歩行者と自転車を分離し、それぞれの安全性・快適性の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	単年度自転車道等整備延長	k m	0	0	0.1	0.2	0.2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	自転車道等整備済延長	k m	目標値	0	0	16.1	16.3	16.5
			実績値	0	0	12.1		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	令和 6 年度においては国費内示に伴い施工規模を見直し、市道東浜港多賀線で車道混在型(矢羽根型路面標示)を 0.1k m 整備したが、目標値は達成できなかった。	(目標達成度) 75.2%						
	(得点) 26点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
		(目標達成度)						
	(得点)							

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)	
トータルコスト	[千円]	29,802	33,673	35,229	19,440	
	(事業費)	[千円]	14,834	18,619	19,789	4,000
	(職員人件費)	[千円]	14,968	15,054	15,440	15,440

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	自転車通行空間の整備 東浜港多賀線	1 9 , 7 9 0 千円	総額	19,789	
			特定財源	国	8,668
				県	0
				市債	8,000
				他	0
			一般財源	3,121	
令和 7 年度	自転車通行空間の整備 東浜港多賀線	4 , 0 0 0 千円	総額	4,000	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	3,600
				他	0
			一般財源	400	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	76 / 100 (76 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

東浜港多賀線において、部分的に路面標示（矢羽根）の設置を実施した。なお、今後の事業実施については、「高松市自転車ネットワーク計画（路線網図）」に基づき、計画的に整備予定路線の事業に着手していく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
今後とも国・県と連携しながら効率的な整備を進めるために、「高松市自転車ネットワーク計画推進協議会」において改定した「高松市自転車ネットワーク計画（路線網図）」に基づき計画的に整備を進めるとともに、同協議会等において整備効果等を共有しながら、より効果的で効率的な整備手法の検討など、「高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針」の見直し等についても協議を行う。